

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--------------------|------------|----------|
| 事業所番号 | 0190201384 | | |
| 法人名 | クリーンハウス株式会社 | | |
| 事業所名 | グループホームたんぼぼ札幌新道東 | | |
| 所在地 | 札幌市東区北36条東21丁目3番3号 | | |
| 自己評価作成日 | 令和2年1月30日 | 評価結果市町村受理日 | 令和2年4月7日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JiyosyoCd=0190201384-00&ServiceCd=320&Type=search |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 株式会社ソーシャルリサーチ |
| 所在地 | 北海道札幌市厚別区厚別北2条4丁目1-2 |
| 訪問調査日 | 令和2年2月25日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の一人ひとりの想いを大切にその人らしい生活ができ、介護理念に基づき、安心して生活が出来るように、壁飾りなどを含めた環境整備を行い、落ち着いて過ごすことが出来るようにケアを実施しております。
また、その日その日でケアの柔軟性向上を図り、利用者様本位でケアの実施を図っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成29年12月に開設された2ユニットのグループホームです。札幌市東区の閑静な住宅街にあり、事業所の裏には大きな公園、向かいには広い緑地があり、自然や四季の移り変わりが身近に感じられる恵まれた環境です。2階建ての建物で、利用者の居住スペースは1階です。職員は、利用者のこれまでの生活歴を大切にしながら、地域とのつながりのある生活を支えています。同じ敷地に同じ法人の保育園があり、イベントなどで園児と交流があります。散歩や買い物、屋外での食事やドライブ等、外出の機会を多く持ち、利用者の満足や笑顔につなげています。食事は三食職員の手作りで、朝食には和食と洋食のどちらかを選ぶことができます。利用者のかかりつけ医が休日以外の毎日、往診に訪れ、さらに、休日を含めた24時間いつでも駆けつける体制となっています。利用者の日々の健康管理から看取りまで、医師、看護師、家族、職員がチームとなり、利用者の尊厳に充分配慮しながら、心をこめたケアサービスで家族の安心に繋げています。利用者の希望があれば、ペットの飼育も検討するなど、今までの生活の延長線で安らぎのある環境作りに取り組んでいます。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

| 項目 | | 取組の成果 ↓該当するものに〇印 | | 項目 | | 取組の成果 ↓該当するものに〇印 | |
|----|---|---------------------|--|----|---|---------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25) | 〇 | 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんどつかんでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9、10、19) | 〇 | 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38) | 〇 | 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20) | 〇 | 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 〇 | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | 〇 | 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37) | 〇 | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12) | 〇 | 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 〇 | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 〇 | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31) | 〇 | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 〇 | 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28) | 〇 | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | | | | |

自己評価及び外部評価結果

| 己評 | 部評 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|----|---|---|--|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 全職員が介護理念を理解し、実践できるように内部研修を行っています。また、名札の裏に、介護理念を携帯し、常に理念の内容を確認出来るようにしております。また、担当者会議等においても、その理念に照らし合わせてサービスの展開に努めています。 | 法人の理念と、事業所独自の7つの行動指針を策定しています。入職の際と年に1回理念の研修を行い、理念と行動指針を職員が共有し、共通の意識の下に支援ができるようにしています。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 町内会のイベント行事への積極的に参加させて頂いております。子供の会主催のハロウィンでは地域の子供たちと80名程度事業所に来訪し、利用者様との交流を図るなど地域活動への意欲的な参加を行っております。 | 事業所では、地域づくりに参加することで利用者の生活の範囲も広がることを目指し、町内会の活動にも利用者と共に参加しています。地域に対し、非常設備の活用等で災害等の助け合いの表明も行っています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 現状としては実施に至っていないが今後の課題として地域機向けに介護教室など様々な方法で、地域の方々に認知症の理解を深め、事業所として役割を果たすことができるように立案し、実現に向けた動きをしたい。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 地域包括支援センター様、町内会役員様、利用者様、利用者様家族様に参加して頂き、運営の状況や施設での取り組みについて報告し、サービスの向上に活かすよう、意見を頂き、事業所の運営を務めております。 | 利用料の請求書を送付する際に運営推進会議の案内を行い、多くの家族の参加があります。参加者からの質問や意見もあり、双方向の会議となっています。参加者には、看取りへの対応や感染症対策など、事業所の運営に対する理解が深まるように努めています。 | 運営推進会議には多くの参加が得られていますので、家族や住民を対象にした関心のあるテーマを設定するなど、会議でより活発に意見や情報を得るために、事前に会議で話し合う議題を決めて周知する工夫が期待されます。 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 市の担当者様へ毎月月初めに入居状況報告を行い、事業者の空室状況の報告を行っているとともに、困難事例に対して、行政としての意見を求めたりするなどを行い、利用者様への処遇の向上に努めております。 | 市担当者には入居状況を報告したり、困難事例の相談を行うなど、協力関係を築いています。事業所の立場からの意見や要望を伝え、日々の事業所運営がスムーズに行えるように連携を深めています。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 委員会を設置し、定期的に事業所内外の研修や勉強会などの実施を行い、身体拘束の確認を行っております。また、ケアの内容等においても、日々の取り組み内容を見返すことで、そのケア自体が身体拘束にならないかを確認しながら、日々ケアを行っております。 | 身体拘束防止の指針を職員の共通理解の礎としています。職員の言動が気になる時は、個人面談を行い、意識付けを行っています。新たな薬を使用する際は医師から家族へ説明を行い、納得の上で使用します。玄関は夜間のみ施錠しています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 委員会を設置し、事業所内でのケア実施内容の確認し、全職員への勉強会等の研修を行い、虐待につながる事無いように、虐待防止を図る取り組みを行っております。 | | |

| 己評 | 部評 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 勉強会で権利擁護の研修を実施したり、入居相談段階で状況等を判断し、弁護士を紹介し後見人制度の利用を促し、活用もできるように行っております。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居前の見学や契約時に、管理者と計画作成担当者が家族や本人からの不安や疑問を尋ね、納得していただく十分な説明を行い、入居契約を行っております。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議の活用し、日々意見や疑問点などが伝えやすいように努めております。家族などとの友好な信頼関係を構築するように努力し、気楽に発言が出来るように計画作成担当者ほか居室担当者が、ご家族様へ意見を求めています。 | 日々の生活の中での会話等を通して利用者の意向の把握に努めています。家族との信頼関係づくりに努め、意見を求めたり、意見箱の設置をしています。利用料について等の意見を検討し、運営に反映しています。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 発言しやすい環境をつくり、意見や提案を聞く機会を設けております。職員会議での意見や提案を聞き、反映できるように努めております。 | 施設長は職員に対し「24時間いつでも相談に乗る、困った時は助けになる」という姿勢を示しています。施設長やリーダーは日常の中で職員に目配りし、毎月声を掛け、職員からの要望があれば、個人面談を実施しています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 個々の家庭環境などにも目を配り、職場環境の整備に努めております。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 内外の研修を含め、ケアがスキルアップが出来るように先輩職員などがOJTに努めております。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている | グループホームの集い等に管理者のみ出席するのではなく、一般職員も参加し他事業所の職員との交流し、得た情報を共有し、サービスの向上をさせていただくようにしております。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前に、管理者と計画作成担当者が面談を行い、本人と家族の意見等を聞き、良好な関係を築くことで、入居後も安心と信頼が保つことが出来るように、関係作りに努めております。 | | |

| 己評 | 部評 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居前に、管理者と計画作成担当者をご家族様と面談を行い、現在困っている事、不安や要望などに耳を傾けながら、関係作りに努めております。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居前の面談、本人や家族からの意見を踏まえ、何に支援が必要なのかを把握し、生活の様子をアセスメントを行いながら、適切な支援を行っております。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 利用者様が介護する、介護される関係性ではなく、職員が暮らしを共にし、安心できる関係作りに努めております。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族様の面会された時には、積極的にお話をさせて頂いております。毎月、生活報告書を送付し、写真配信にて、日々のご様子を随時報告させていただき、家族との絆を大切に、ともに本人を支えていく関係を築いております。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 居室前に馴染みの場所などを飾り、思い出話ができる環境を作っております。友人が来訪された時は、居室にてゆっくりと過ごして頂き、これまでの関係が途切れてしまわないように支援に努めております。 | 地元出身者ではない利用者が多く、これまでの馴染みの関係を維持するのが難しくなっています。可能な場合は、富良野や小樽など、利用者の馴染みの場所への訪問を支援しています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 普段の生活の中で、利用者様同士が協力し出来る事を行っております。また、食器拭きやレクリエーション活動でも、声を掛け合いながら孤立しないような関係を築くための支援を行っております。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 事業所での生活が困難となり退去された方には、次の入居先を一緒に探すことやその事業所への入居後においても連絡を行い、必要に応じて相談支援の実施を行っております。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々、利用者様と関わる中で本人の思いや考え方を理解し、アセスメントシートを活用し、職員同士が情報共有を行い、利用者様本位なケアが出来るように展開しております。 | 利用者の担当職員を中心に、日常の中で利用者の思いや希望を汲み取るよう努めています。言葉にするのが難しい利用者の場合は、家族にこれまでの生活の様子を聞き、自分の力を活かし意欲を持てる場面を増やせるよう、検討しています。 | |

| 己評 | 部評 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時に、本人や家族からのヒヤリングを行い、基本情報シートを作成しております。生活歴や馴染みの暮らし方をアセスメントし、生活環境を把握した上で、インフォメーションシートを作成しております。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 入居前のヒヤリングにより、1日の生活リズムを確認し、一人ひとりの計画の作成に努めるとともに実施した結果、日々の心身状態などの細かな情報において、日誌や個別ケース記録にて情報共有を図るように努めております。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 3か月毎のモニタリングを行い、担当者会議を開催し話し合っております。課題となることは、主治医、家族とも協議し、現状に合わせて介護計画を作成しております。 | 介護計画は6ヶ月毎に作成しています。アセスメントシートに記録してある利用者の思いや希望をふまえ原案を作成し、家族に来訪してもらい、本人の現状と介護計画の内容を説明しています。計画の見直しは3か月ごとに行い、状況に合わせた介護を提供しています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別の経過支援記録やアセスメントシート、医療記録に記録し、その内容を情報共有を行い、見直しの際にも、記録を読み返すなどを行い、その情報をもとに介護計画の見直しを行っております。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人の状況に応じて、すぐに必要な支援が行えるように柔軟な対応を心がけております。家族に相談が必要な際は、その都度連絡を取り合い、数通りの支援を提案し、決定して頂き、最良な支援が行えるように努めております。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 利用者が使える地域支援の把握を行うとともに、日々の散歩されたり、地域との関わりを持ちながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことが出来るように努めております。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人や家族の希望を聞きながら往診医の診察をされております。既往歴により今までの病院での検査などを行う場合は、付き添い送迎を行い、適切な医療を受けられるように対応させて頂いております。 | 週1回の訪問看護の他、休日を除いた毎日、内科医の往診があります。皮膚科や歯科も往診を受けることができます。家族に対して毎月の生活情報報告書で経過報告を行っています。薬の変更や変化がみられる際は電話でも報告しています。 | |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 日常の関わりの中で得た情報に基づき、必要に応じて随時、訪問看護師へ電話連絡を行い、主治医の指示を受けております。また、日々の関わりの医療的な工夫など訪問看護師が毎週訪問看護行っておりますので、相談し支援の展開に努めております。 | | |

| 己評 | 部評 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|----|--|--|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には、医療機関への情報提供を行うとともに、定期的に面会などを行い、病院の看護師や主治医より現状の病状確認を行っております。また、事業所として受け入れられるレベルの話など医療機関との温度差が無いように努めております。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる | 入居時に重度化した場合の介護の指針を説明し、同意を得ております。重度化した場合は、主治医・管理者・計画作成担当者・家族と話し合いチームでの支援が出来るように支援しております。 | 契約時の説明の他、食事量が減るのを目安に、家族と看取り方針を話し合っています。事業所独自の看取り介護同意書があり、終末期の支援は、点滴や食事など、希望を反映して行います。看取り時には家族も一緒に宿泊が可能で、協力しながら利用者を中心にした支援を行っています。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 応急救護の研修会の実施や個々の利用者に合わせて緊急時の対応方法などを、主治医から指導を受けているとともに、定期的に内容を確認し、全職員が初期対応が行えるように努めております。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 災害時のマニュアルの作成や火災避難訓練を年2回実施しています。災害時の備品や備蓄の見直し、職員研修にて災害時の対応の仕方などの研修を行っています。 | 職員全員参加で夜間想定火災避難訓練を実施し、年度内に夜間想定地震時の火災訓練と放水訓練を予定しています。事業所の明かりと暖房をまかなえる発電機があり、災害時には近隣住民への支援を表明しています。 | 職員が避難手順を実践し体験する場を設け、歩行できない利用者の避難等も的確な行動をとれるように備えることが望まれます。また地域住民の避難訓練への参加を促すとともに、具体的な役割分担の相談を進めて災害時に備える事が期待されます。 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人ひとりの人格を尊重し、人生の先輩であることを忘れずに言葉掛けに心がけております。ともに暮らす者同士親し気な言葉掛けになることもありますが、研修などを取り組んでこれからのケアに活かしたいです。 | 職員は接遇研修や内部研修を受講し、人格の尊重やプライバシーについて学んでいます。利用者への声の掛け方に配慮し、利用者との個人的な話をする時は居室に移動して他の利用者に聞こえないように配慮しています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日常会話の中で、本人の思いや希望を汲み取り、職員本位の考えではなく、利用者様本位で自己決定を行えるように働きかけを行っています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している | 職員本位の都合の行動してしまいがちですが、利用者様本位で行うとともに、利用者様一人ひとりのペースを大切に、希望に沿った生活が出来るように心がけて、支援をしています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 訪問理美容の利用で、定期的に散髪や髪染めなどを行っています。利用者様が衣類の選択が出来るようにお手伝いの実施など支援を行っています。 | | |

| 己評 | 部評 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 日常的に食事の盛り付けなどの準備や食器などの片付けを職員と共にさせていただいております。個々の利用者様のADLIに合わせて、職員と共に調理したり、おやつ作りをしたりするなど、楽しみのある食事になるように支援しております。 | 朝食は和食と洋食があり、前日の夜に選ぶ事ができます。職員が献立を考え、三食手作りの食事を提供しています。夏には、利用者と一緒に育てた菜園のピーマンや大葉、トマトなどが食卓に並んでいます。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分や排泄、食事量のチェックシートを活用し、利用者様一人ひとりの状況を把握し、身体状況や嗜好などを考慮し、個々の利用者様に沿った食事の形態で提供し、支援しております。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、利用者様一人ひとりに声掛けを行い、口腔ケアを行っていただいております。口腔ケア介助が必要な利用者様には、職員が付き添い口腔ケア支援しております。また義歯調整などは訪問歯科にて、より専門的な支援が受けられるように支援しております。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 水分・排泄チェックシートを活用し、利用者様一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄が継続できるように支援しております。排泄用品の選択もご本人本位で行うとともに、負担にならないように考慮しケアをしております。 | 水分・排泄チェックシートで、利用者ごとに排泄のパターンを把握し、トイレへの誘導を行っています。トイレでの排泄を基本と考え、不安なくトイレに行けるよう工夫しています。体操や散歩などで適度に運動出来る環境を作るなど、利用者ごとに支援の内容を検討しています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 水分・排泄チェックシートを活用し、排便の有無を確認を行っております。食事量や水分量には注意し、出来るだけ自然な形で排便があるよう、食物繊維を定期的に摂取できる食事内容にしたり、腸内を動かす体操を行い、排便の無い日が続けば、主治医の指示のもとに下剤の服用し、負担にならないように支援しております。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている | 毎日、入浴ができる環境を整えております。入浴剤などで気持ちよくは入れる工夫を行っております。また、プライバシーや羞恥心に配慮し、利用者様個々に介助が必要な部分を洗身などの支援を行っております。 | 夏場は週3回、冬場は週2回の入浴が基本です。希望があれば毎日の入浴にも対応します。浴槽には循環ろ過システムを設置しています。利用者の希望で日帰りの温泉入浴に行くこともあります。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 習慣的に昼寝をしていた方や日中傾眠されている方にはお声掛けを行い、利用者様の本位で決定して頂いて、自室で休めるように支援しております。リビングのソファなどでうとうとされる方などもおり、ご自由に休まれております。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 利用者様の最新の薬剤情報はファイルに綴じ、全職員がいつでも薬剤情報の確認できるようにしております。薬が変更となった際は、職員間での情報共有を行い、確認の徹底に努めております。 | | |

| 己評 | 部評 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 利用者様一人ひとりに合わせて、自室やリビングの掃除機掛け、洗濯物たたみ、食器洗い、食器拭きなどを行っております。毎日の日課で新聞やチラシを見たりされている方もおります。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天気の良い日や暖かい日は、利用者様の希望に沿い、近くの公園などに散歩へ出かけております。また、外出レクでは、岩見沢のお祭りや動物園などへ行き、四季を感じられるように支援させて頂いております | 気候の良い季節には車いすの利用者も一緒に、隣接する公園等に散歩に出掛けていきます。またゴミ出しや菜園の水やり等、日常的に屋外に出る機会があります。買い物の要望があれば、近隣の商店や遠方の大型商業施設にも足を伸ばしています。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 家族様と相談のうえで、利用者様が少額お金を持つこともございますが、お金のしまい込みなど自己管理が難しいため、極力、家族と本人の希望に応じて、立替金での買い物が行えるように支援させて頂いております。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 利用者様が希望される場合は、いつでも電話のやり取り、手紙のやり取りを行えるように支援させて頂いております。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有部でも気持ちよく生活が出来るように、室温や不快な刺激が無いように気を付けております。また、日めくりカレンダーを設置し、毎日確認ができ、季節に合った壁装飾をしております。 | 廊下や居間は明るく清潔で、温かみとゆとりのある空間です。廊下にはお雛様、居室前の通路には利用者ゆかりのある物や風景、利用者の笑顔の写真を飾っています。加湿器が複数台設置しています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 日常的に気の合った利用者様同士が交流しやすいように、座席誘導や場所の工夫を行い、利用者様に沿った支援させて頂いております。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居前に、利用者様・家族様に居室で使うものをお話し、慣れ親しんだものを持ってきていただけるよう説明を行い、協力して頂いております。新たに購入する用品は、使用される方の生活動作を確認した上で、施設側から安全で使いやすい物を提案に努めております。 | 居室には線香、ろうそくは持ち込めませんが、それ以外に制限はありません。のれん、仏壇やテレビ、加湿器など自由に置き、壁には時計や写真等、好みの飾り付けをし、居心地よく過ごせるように工夫しています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 利用者様が、出来る事は継続して行えるように支援し、出来ない部分も職員の声掛けにより、軽介助で出来るよう工夫し、個々の自立性を高めたいよう支援させて頂いております。 | | |